

横浜市の新たながん対策を推進します！

横浜市では、市民の10人のうち8人は身近な人ががんになり患っており、また、9割以上の市民が、がんをこわいと感じています。（令和6年横浜市がんに関するアンケート）

そこで、市民の皆様が安心して生活できる横浜市を目指し、検診等の充実をはじめとしたがん対策を加速化します。

【がん対策における新たな取組】

- 1 子宮頸がん検診における新たな検査の導入
- 2 遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)検査への新たな助成
- 3 ブレスト・アウェアネス[※]の推進
- 4 65歳時点のがん検診を無料化に
- 5 70歳以上の方の精密検査を無料化に
- 6 さらに受けやすいがん検診に
- 7 小児・AYA世代(15～39歳)向けの新たな取り組み

※乳房を意識した生活習慣

※事業の実施は令和6年度予算案が横浜市会において議決されることを条件とします。

詳細は別添「横浜市の新たながん対策の推進（がん検診の充実等）」参照

お問合せ先

医療局がん・疾病対策課長 古賀 美弥子 Tel 045-671-2957